

会 議 録

会議の名称	飯塚市こども審議会
開催日時	令和 7 年 6 月 27 日
開催場所	ゆめタウン飯塚内 ゆめホール
出席委員	垂見直樹、田中祥一朗、武田祐子、増山雄一、大淵加代子、 國本洋規垂、小池千津子、岡松美千代、木村幸道、竹本千恵子、 原和也、香月法彦、井上ゆかり、江藤博文、真鍋和子、シボロ佳代、 淵上亜紀
欠席委員	須藤明、名武工枝、細川義朋
事務局職員	林部長(こども未来部)、森課長(こども政策課)、野見山課長(こども家 庭課)、宮本課長(保育課)、大里係長(こども政策課)、有福(こども政策 課)
会議内容	<p>【委嘱状交付式】</p> <p>1.委嘱状交付</p> <p>2.こども未来部長あいさつ</p> <p>【こども審議会】</p> <p>1.自己紹介</p> <p>2.資料確認・出席者数確認</p> <p>3.飯塚市こども審議・飯塚市こども計画について</p> <p>4.議事</p> <p>(1)会長・副会長選出 意見なし</p> <p>(2)「第 2 期飯塚市子ども・子育て支援事業計画及び第 1 期飯塚市子 どもの貧困対策推進計画」の進捗状況について</p> <p>委員 事業No.79 の小中学校における ICT 教育推進事業について、 教員の ICT レベルについて達成度が 76%となっているが、 教科だけでなく指導要領などの評価についても勘案すると達 成度がもうちょっと上がるのではないかと。</p> <p>事務局 ICT レベルの達成度については、タブレットを用いた連 絡事項や宿題、調べ学習などの基礎的な部分も含まれて いる。教科によって活用が難しい場合もあるが、ICT 指導 員や大学生の活用などを積極的に推進していきたい。</p> <p>委員 子育て短期支援事業について、緊急時の連絡先はどこか。</p>

	<p>事務局 こども家庭センターが開設している時間帯であれば、「こどもなんでも相談」で受付けるが、時間外の対応については担当課に確認する。</p>
	<p>委員 今後独立した形の児童館・児童センターを建てる予定はないのか。また、こどもたちに対して児童館があったほうがいいのかといったアンケートを実施したことはあるか。</p>
	<p>事務局 学校敷地内に児童センターを設置して学童保育を行う形が財政的に有利であった歴史的経緯があり、現在は12地区の交流センターを活用してこどもの居場所づくりを推進している。アンケートに関しては、児童館のみに限定したアンケートを行ったことはないが、飯塚青年会議所との連携によるビジョナリーシティこども会議や嘉飯桂未来塾などでこどもたちの意見を聴取しており、今後のこども施策にどう反映していくかを本審議会で検討していきたい。</p>
	<p>委員 スクールカウンセラー等配置事業について、カウンセラーの増員時に同じ学校に同じカウンセラーを配置するのではなく、さまざまな別のカウンセラーを配置してほしい。</p>
	<p>事務局 カウンセラーは県費で雇用しているカウンセラーと市費で雇用しているカウンセラーがおり、互いに力を合わせて対応しているのが現状だが、今回いただいた意見を担当課に伝え、内容の改善に努めたい。</p>
	<p>委員 スクールバスの利用が困難なこどもへの代替手段が何かあったらいいと思う。</p>
	<p>事務局 八木山地区では、コミュニティバスと混乗させる形で運用している事例があるため、今回いただいた意見については担当課に伝える。</p>
	<p>委員 保幼小の連携の推進について、小学校と保育園・幼稚園の接続を進めることが重要である。保幼小連携が後回しにされている現状があり、小学校との連携が困難であるためぜひ推し進めていただきたい。</p>
	<p>事務局 保幼小連携については、保育課が各園にアンケートを実</p>

	<p>施しており、こども未来部と教育部が連携して取り組みを進めていく方針である。また、近畿大学九州短期大学の保育科との連携も検討している。</p> <p>(3)令和 7 年度 子育て支援を推進するための 3 つのアプローチについて</p> <p>委員 第二子以降保育料完全無償化について、保育要件を満たしているか否かに関わらず、幼稚園のプレ保育も対象にすべきである。</p> <p>事務局 現在の予算規模は把握しているため、来年度予算要求する方向で検討しているが、財政状況やほかの施策との優先順位を考慮する必要がある。また、福岡県からの補助金も創設されたため、情勢を見ながら要求していく方針である。</p> <p>(4)近畿大学九州短期大学との連携事業について</p> <p>意見なし。</p> <p>(5)次回以降検討を行う内容について</p> <p>事務局 こども審議会では、特定のテーマについて話し合う場合に専門部会を立ち上げて、そこで審議した内容をこども審議会でもフィードバックする仕組みを構築している。こどもに関する施策であれば何でも検討可能であるため、委員の方々は審議したいテーマがある場合は次回の審議会にてお示しいただきたい。</p> <p>(6)その他</p> <p>事務局 次回は 10 月以降に実施予定。</p>
会議資料	<p>1-1 飯塚市こども審議会の設置について</p> <p>1-2 飯塚市こども計画の概要</p> <p>1-3 飯塚市こども計画やさしい版</p> <p>1-4 飯塚市こども計画</p>

	<p>2-0 第 2 期飯塚市子ども・子育て支援事業計画および第 1 期飯塚市子どもの貧困対策推進計画</p> <p>2-1 計画進捗状況報告・質問・意見等に対する回答</p> <p>2-2 令和 7 年度 子育て支援を推進するための 3 つのアプローチ</p> <p>2-3 近畿大学九州短期大学との連携事業</p> <p>3-1 飯塚市社会福祉協議会寄付依頼チラシ</p> <p>3-2 保育・こども園・幼稚園合同就職説明会</p> <p>3-3 ファミサポ病児・緊急対応チラシ</p> <p>4-2 進捗管理の手法見直しについて</p> <p>4-2 事務事業評価の概要&事例</p> <p>4-4 令和 7 年度こども関連施策の予算概要書</p>
公開・非公開の別	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 3 人)</p>
その他 (非公開理由等)	